臺灣日日新報　夕刊　八月三十日

主要食糧について御進講を御聽取
石黑忠篤氏を召され

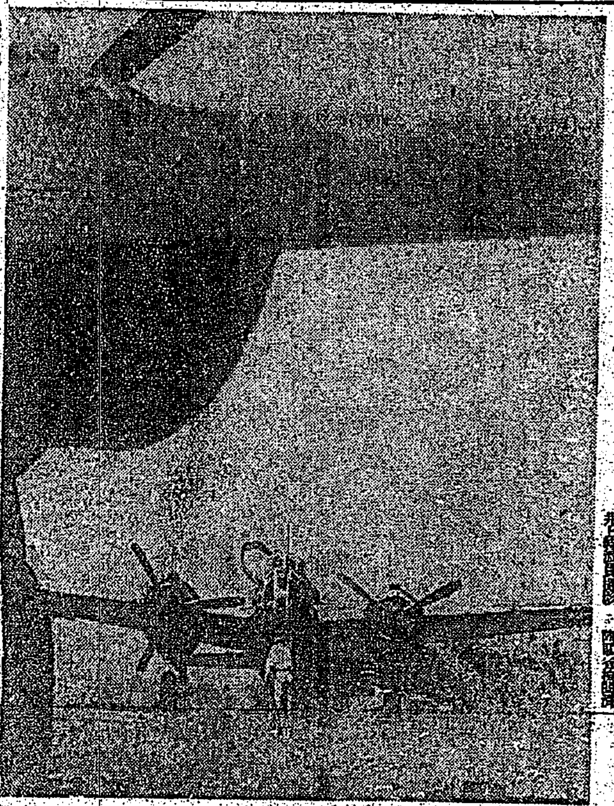
【東京電話】畏くも天皇陛下におかせられては……石黑忠篤氏を宮中に召させられ「主要食糧について」と題する御進講を御聽取あらせられた

在支敵空軍に鐵槌
廿日より廿八日迄　敵機擊墜破卅三機

ニューヂョーヂア爆擊

感銘・滿洲國の協力
新京着　青木大東亞相談

日滿一體協力强化
青木大東亞相の訪滿



在支米空軍擊滅へ（寫眞は整備完了、出動命令を待つ我荒鷲〇〇基地にて）

藪蛇の第二戰線
米英の策動、皮肉な結果

國際展望

ケベック會談の波紋

太平洋反攻作戰

英國の政治的策動

重臣、政府首腦招待
内外情勢につき懇談

赤軍作戰重大蹉跌
東部戰線南部地區

アウグスタ港を獨空軍奇襲

獨潛艦、北氷洋で敵船三隻を擊沈

赤軍の攻勢白熱
東部戰局一段と激化

丁抹に獨軍戒嚴令
海岸線に反樞軸軍蠢動

ボリビヤ、佛傀儡政權不承認

伊軍戰況公報

關東配電社長に平澤要氏

泰軍事視察團
海軍航空隊視察

ボリス三世葬儀　九月五日に決定

ブルガリア王妃にヒ總統弔電

チアノ元外相監視網脫出

地方官官制改正

知事格上發令

人事

食糧增産・敢闘する臺灣（五）
臺灣糖業の將來
南方糖業發達の基地とせよ

座談會出席者

臺灣總督府殖産局長　須田一二三氏
同　農務課長　松野孝一氏
臺北帝國大學教授　鈴木尚一郎氏
同　出田榮三郎氏
同　足立仁氏
同　山崎守正氏
農業試驗所長　加茂巖氏
農業會　山本　氏

濱口教授

優秀多數の軍人輩出
ヒトラー・ユーゲントの活躍

ヂ疾に
オゾは傷や怪我ばかりでなく痔疾日やけなどにもよく効きます
お試し下さい
オゾ

臺灣護國神社へ
直胤の名刀を奉納
荒井氏の念願叶ふ

ヨイコ早曉必勝祈願
大戰以來現在まで實行

海志の豫備訓練
新竹州卅一日に實施

賞賜物件の傳達式

新竹州でも傳達式

基隆市でも擧行

臺北陸軍病院 最近の慰問者

第五部隊軍馬慰問者

コドモ常會で軍馬を慰問

徳丸兵長名誉の戰死を遂ぐ
南方に活躍中

柴田兵長葬儀

中國の推進力培養
上海の第二期夏期集訓營

全國

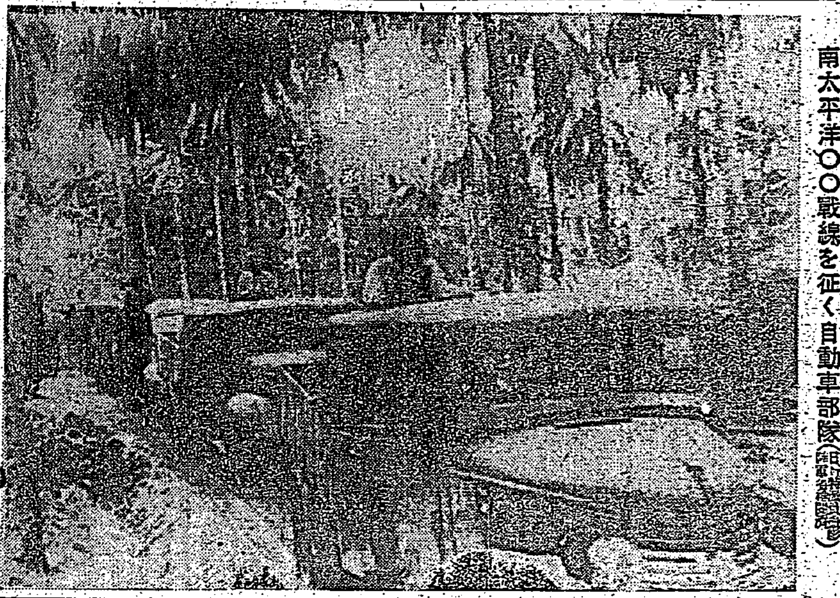
南京

眞劍

藤岡兵務部長講演
女子中等教員錬成會終る

敵機模型と防空展
三十日より三日間 花蓮港市で開催

警察官に對空射擊の猛訓練



南太平洋〇〇戰線を征く自動車部隊（報道部提供）

國民學校教員錬成會（上）開會式（下）百米競走

國校職員體育大會
けふ帝大で開催

加里を含む不食芋（クヮズイモ）
製造會社創設に決定

生活工藝品座談會

ラジオ放送開始時刻繰下げ

郷軍西聯合分會射擊會

青少年に農業經營講習會

三十萬圓を突破か
醫師會の兵器獻納運動

滑空士試驗延期

米供出の優良部落
新竹州で表彰に決定

物動計畫の打合せ

映畫の夕開催

青少年團體育錬成會盛會

硅石や黄銅硫化鐵
花蓮港廳下で發見さる

民衆應待を敏速化
お役所窓口を銀行式に

コレラ豫防注射
島部で一日から

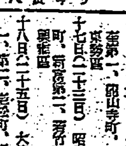
コレラ又一名
澎湖廳下に發生

淡水中學劍道試合

中部水泳錬成大會

[illegible]番組

明朝の番組



後三國志 (190)
（出師の巻）
吉川英治作
矢野橋村畫

北斗七星旗（11）

強力リベール錠

物は試し
クスリはホシ
ゼークローミン
星製藥株式會社 ホシ

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

大陸、南方に武勲赫々

河原陸軍中將以下 殊勳甲百六十五名

陸軍關係論功行賞

殊勳甲

大東亞戰歿者

來襲敵機十六撃墜

ハンサ、マダン、ウエワク方面

アキャブで三機撃墜

航空機工場中心に第三回行政査察

査察使 再度藤原氏に勅命

敵砲彈一身に浴び泰然自若僚艦誘導

コロンバンカラ夜戰詳報

天皇陛下

勅新帝陛下に御弔電御發送

壯烈

進路

海面

半身

北方

戰闘

樞軸、最後の完勝確信

天羽情報局總裁斷言

大東亞

長期戰

全世界

在支米空軍撃滅、敵の來襲を見張る望樓

剿共、米英撃滅に挺身

日華記者團と會見 孫殿英將軍所感述ぶ

臺灣關係者

▲戰死者

▲病歿者

支那事變死歿者

漢口舊敵產移管終る

卅日 海軍武官通じ移管傳達

土地改良事業

資材確保協議

初代駐日緬甸大使任命式

軍用機新標識を米紙誇示

人事

けふの官報

食糧寄與に感謝

青木大東亞相新聞記者團に答ふ

新京神社參拜

海海 時局雜誌 綜合雜誌
九月號 四十錢
大洋
太平洋血戰の新様相 座談會
ソロモン血闘一年……庄田少佐
海戰と電波兵器……谷村功
決戰下海の增產陣營
造船戰士の記錄……寒川光太郎
戰ふ港湾……木村俊夫
海鷲生產戰……庭谷莊一
海藻も決戰武器……池尾勝己
木造船進水す……小山内徹
學徒に與ふ……小泉信三
デング熱と其豫防……阿部中佐
海軍軍醫學校……寺崎浩
決戰場の鼓動心時報
火のニューギニア……北原晴光
メナンカバウの町……鹿島孝二
火箭の雨……湊邦三
潜艦決戰場を航く……旭寅吉
好餌／護送船團……羽中田誠
戰闘機隊血闘記……吉田一
死の漂流二十時間……小野昇
海兵團の半日……高田保
文藝春秋社

小學館版・文藝書
馬琴北齋芭蕉……宇野浩二著
戰線詩集……佐藤春夫著
起てよ印度……野口米次郎著
文學の美德……宇野浩二著
支那の屛風……小高根次郎著
濱木綿の歌……小高根次郎著
筑紫日記……室生犀星著
神樂歌……大鹿卓著
草の蔭に……和田傳著
日蓮……尾崎士郎著
手風琴……淺見淵著
小學館

ラマルチーヌ 若き日の夢
モオリヤック 宿命
カステル 微風の中の死
ベルジエ 異國情趣
ベデイ 半月手帖
グリーン アジアの旅
モーロア 知と愛の生活
アラベスク
バルザック 巴里の美術家たち
更生記
スタンダール藝術論爭
たそがれの愛
新文學の想念
姉妹
赤と綠
微笑
二笑亭綺譚
香に匂ふ
詩集 富士山
その後の幸福
竹
あさき夢
竹の本
終りの薔薇
昭森社

陸軍落下傘部隊
忠靈塔物語
三浦藤作著 萬葉物語 防人の歌
文部省推薦・高田常雄著 軍神杉本中佐
東京・日本橋通三ノ五 振替東京二九九一番
會話春秋社

社説

戰時下上に立つ者の心得

石炭增産座談會 四

技術陣の擴充必須

青少年勞務者の獲得

周到な檢討を加へること

國家觀念の下に總ての事

最早議論の餘地がない

本當の熱意を持って事業

最も遲れた勞働者であり

矢張り專門の坑夫を收容

計畫は緊急にして恒久的

重要な問題は物的條件

眞の勤勞の精神を養って

本島でもさう云ふ方法を

增産は緊急的且つ恒久的

臺灣の石炭界 四十餘年の間

改良すべき點が多々ある

坑内の機械化

作業能率の向上 職場の安全性確立

生産增强徹底週間

計畫輸送愈よ實現

鐵道部、一兩日中に自動車運送事業組合設立命令

臺灣の水害へ義捐金募集

蠶絲生産機構の一元化へ 金融ン團結成

化學統制會へ加入

本島では「七社」の方針

生産增强の爲

勞務行政に資す

浮動勞力の統制 新竹州

商工經濟會及商工統制組合 兩法令立案中

臺灣化成工業の生産能力增大

本島科學の貴重な收穫

茄苳の葉を原料の「酒石酸」企業化へ

甘藷大增産態勢

王座臺南州の敢鬪

増産陣を行く

驚澤とされ

非常な努力

魅大な生産

作付面積の

臺南州下の

數倍の漁獲めざす

共同操業の曳船漁業

守る秘密に搖がぬ國土

臺北市 臺北鐵道ホテル
朝陽號
昭南閣
吾妻
日之丸館
萬屋旅館
新高
吟松庵
星乃湯
藤家
沂水園
巴旅館
大屯ホテル
新薈芳本館
常盤旅館 常盤食堂
廣島館
永三旅館
樂園
杉崎旅館
吾妻旅館
塚迺家
白水館 白水食堂
高丸旅館
吾妻旅館
すみだ旅館
櫻井旅館
金城旅館
花家旅館
山陽會館
櫻家旅館

行賞に輝く勇士の横顔

空に生き、空に死す

覺悟を辭世に晴れの出陣

河原中將

河原中將

敵指揮官を一突き

特火點攻略の勇士、永芳軍曹

永芳軍曹

敵機三十を槍玉に

不滅の偉勳、加藤大尉

初陣に早くも偉功

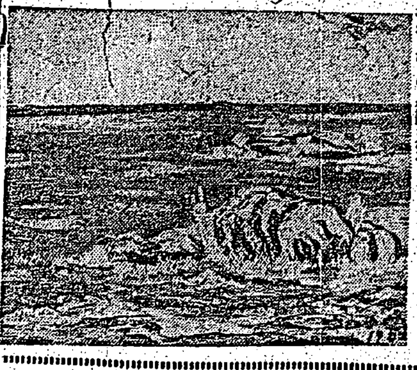
神鷲隊三羽烏の一人安間少佐

安間少佐

乃木館に油繪の風景畫

アッツの勇士・渡邊中佐の作

同期生横田參謀の感懷談



賑ふ「敵機模型と防空展」初日

これが憎い敵機か

お山の衆も熱心に參觀

健民へ、活潑な意見

初の指導醫連絡會議開く

健民指導醫連絡會議

治安戰線の殊勳甲

二刑事を表彰

非のうちどころなし

港都の模範防空群決る

ボクもだ、アタイも兵隊さんの後押しだ

獻金に示す　ヨイコの赤誠

奥さんに呼びかけて募集

園兒、お金を持ち寄る

二度目の建艦獻金一千圓

積極的に生活指導

方委活動强化運動始まる

神社に挺身を誓ふ

けふ燒夷彈の消火演習

あす中等學生の防諜討論大會

軍隊式で社衆を錬成

國民學校職員體育大會成績

陸上競技

◇男子部

◇女子部

排球

國境警備慰問隊現地に出發

汕頭邦人から見舞金

南方輸出向新煙草“黒潮”の圖案募集

軍事知識

潰え去つた世界一　スピットファイヤー

（質疑應答）

NTN
東洋ベアリング
大阪・東京・名古屋

今日の映畫

大世界　臺灣劇　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華演藝場　第一劇場　第三世界　太平館

東寶國際館

台北公會堂

母佐野カツ儀療養中ノ處薬石効ナク八月二十九日死去仕候間此段生前辱知諸彦ニ謹告仕候
追而告別式ハ三十一日午後四時三十分自宅ニ於テ相營可申候
臺北市錦町一五〇
佐野宗治
男　佐野正之
同　佐野義丹
同　佐野貞夫
親戚代表　栗林三郎　中川一雄　鈴上治吉　林木太郎　中原信夫　堀江武次郎

會葬御禮　大木鹿之介

夫勳七等鈴木賢助儀病氣療養中ノ處藥石無效昨二十九日午後六時十分死去致候間此段各位へ謹告仕候
妻　鈴木トキエ
同　利子
同　直子
親戚一同

株金拂込催告並ニ株式處分公告
當會社新株式第貮回拂込金（壹株ニ付金拾貮圓五拾錢也）ノ拂込期日ハ昭和十八年四月二十日ノ處左記株式ハ拂込未濟ニ付來ル九月二十日迄ニ遲延利息金（拂込金百圓ニ付一日四錢ノ割）相添へ當本社又ハ東京支店（東京都麹町區丸ノ内二ノ一八）へ御拂込被下度萬一期日迄ニ御拂込無之候場合ハ當會社ニ於テ該株式ヲ處分可致商法ノ規定ニ據リ此段公告候也
昭和十八年八月三十日
臺北市明石町三丁目一番地
臺灣拓殖株式會社

特徴…芙蓉糊　佐野商行
製造販賣業　玄米乳　長命軒　臺北市十番町一ノ二四
精巧な獨特な技術　金光堂メガネ店　臺北唯一の純專門店
浄血强壯精力劑　ドラミン　臺灣總配給所　臺北市大和町三ノ一
クリーニングは　太洋社洗濯部へ　臺北市御成町二丁目　電話二一五二一番
親切本位　大學堂メガネ店　臺北市新起町二ノ四七　電話九三一六番
靴鞄商　巴商會　臺北市榮町二ノ一七
特許　奉公たわし　東子製造株式會社
放送局選定　ラジオは中川　臺北市本町
七種光線萬病にきく　小林治療所
大正堂靴鞄店　臺北市京町一　電話二一二四番
合資會社　則松榮商會
東京堂藥局　臺北市建成町三ノ一
醫院向藥品取揃へてあります　大平藥業株式會社
世界馳名　九一四内服新藥
ヒナタ（香入）　佐野商行
メガネは　和田眼鏡店　臺北市大和町四ノ八　電話六一五〇番
産業戰士手洗用　ほまれ洗粲　野田商行
金星堂藥舖
各種セット多種在庫　賀山模型飛行機部

思つたより深い

本島青年の海軍認識

海志試驗官喜びを語る

林業生産陣强化

高雄州に新炭林四千甲歩

海軍屬の英靈歸還

聖鍬とる白衣の天使

嘉義市で決戰施策懇談會

組合貯蓄先づ順調

新竹州第一四半期の成績

高砂族青年を以て

荒蕪地開墾部隊結成

臺東廳で起工式

家庭

第二學期と兒童

頭腦と健康を生かさう

（八）（夏）（臨）（基）

食事時は愉快に

怒食は榮養の損失

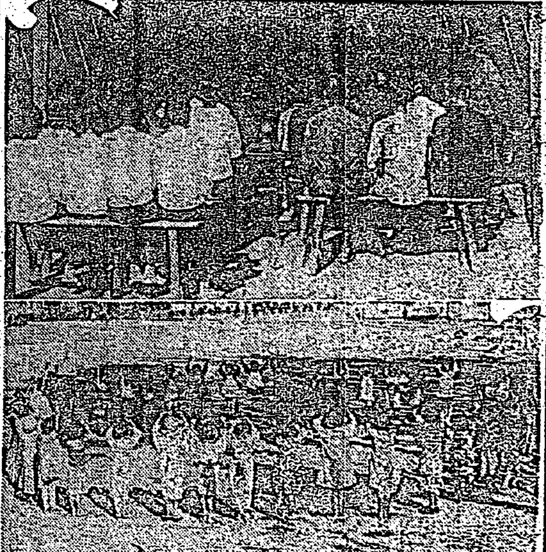
白描

◇むしパン　◇ビスケット　◇コロッケ

老幼男女擧つて

いそしむ皇民への道

東石郡



流産の原因榮養不足

馬匹增産本年度は好調

臺東廳

最上政三氏外三氏

高雄州下皇軍慰問終る

臺南州特設防護團

團長以下防護訓練實施

商季國員も甘藷增産に協力

必見"敵機模型展"

九月七、八、九臺東で開催

目差す健民强兵！

元氣一杯な戰場精神

多山庄主催の青年大會

青少年相撲大會

頭圍河口の開鑿工事下調査

コレラ殆んど終熄

高雄市民の防遏奏效

北斗郡下青年團分隊訓練强調期間

新劇第二回試演會

藝術劇

献金品

軍司令部（八月四日）

國防獻金

赤崁臺南

敵性音盤九百枚

換價して直ちに海軍へ

ラジオ

椰子

(50)　海野十三作　村上松次郎繪

現地（1）

キング改題
富士
九月號
航空決戰斷じて勝つ
▲子供は十人生んで一人前
▲南太平洋荒鷲
▲還らぬ雷擊機
▲霜ふみて行かん
▲御盾
▲高杉晋作
▲太子興起
▲お助け港
▲家庭旅行
大日本雄辯會講談社發行

增産体力の强化に
炎暑にめげず
ますます増産
に精勵すべき
とき…缺かさ
ずパンパビタA
Dを充實し逞
ましい體力を
確保しよう。
パンパビタン

武田藥品
合成女性ホルモン
特許の方法により製せる本邦唯一の新エステル型女性ホルモン劑にして……
作用持續的なれば効果優秀なり。然も惡心、嘔吐等の副作用なし。
月經障害　下腹痛、腹痛、下腹部緊満感、頭重
月經過多、月經不順
更年期障害　頭痛、逆上、眩暈、耳鳴り、肩痛、步勞倦怠感、四肢冷
オバホルモン錠
一〇・五瓩

妻や子を捨て
忠に殉じた男
鳥居强右衛門
戰爭美談　31日より4日まで
大詔に渙く千歳の底力
（下）50錢　（上）80錢
東寶直營國際館

全快者の發表
專門藥
中風藥
胃腸劑
治淋劑
驅毒劑
吉田ドラッグへ

案内廣告
石堂　工員　女中　女店員　女子　家庭　貸間　製麵　成蹊　產婆　生徒　遠藤　高專　某重　公用　讓店　荷造　賣家　投資　蟲研　轉宅